



最終日は、会派を代表して一般質問を行いました。

(下記参照)

神戸市議会は、六月から新しい期に入りました。今年度は、**教育**ことも委員会に所属します。子どもたちの明るい将来を見据えた政策の実現、通学路の安全対策、いじめや虐待の早期発見・対策等に向けて議論して参ります。

六月議会では、ワクチン接種に関する補正予算を含め、合計14議案が可決されました。

令和三年六月議会が閉会

市民の生命と生活を守るために

新型コロナウイルス感染拡大が一年半にも及んでいます。

神戸市議会としても現実を重視して、ひとつひとつハードルを乗り越えながら、市民の皆様生命と生活を守るために引き続き取り組んで参ります。

一般質問

学校園での暑さ対策と感染予防対策について

Q川内：本格的な夏を迎え、学校園においては、暑さ対策と感染予防対策を同時に行っていく必要がある。マスクの着脱については、低学年児童などにどのように周知徹底していくのか。また、教室等の換気と冷房の関連性など、適正な授業環境を確保すべきと考えるがどうか。

A長田教育長：登下校時は十分な距離を取りマスクを外す。運動時はマスクはしないことを周知徹底していく。低学年等でマスクをしている児童がいたら、マスクを外すよう教職員が呼びかけをすることを徹底したい。換気と冷房については、換気扇のある場所は換気扇を使い、ない場所は定期的に窓を開けるなど適宜換気に努めていく。

なぎさの池にトイレを設置します

なぎさの池は、垂水下水処理場の東側にあり、高齢者や車いすの方、子ども連れの家族など多くの方が訪れています。しかし、トイレがありません。

利用者の皆様からの強い要望もあり、今年度トイレの設置が予算計上されています。完成は来年の5月を予定しています。

※バリアフリー化にも配慮したトイレになるよう意見反映します。



郵便はがき

料金別納郵便

ひとりひとりを
大切に！



ご相談はお気軽に

神戸市会議員

川内 きよなお

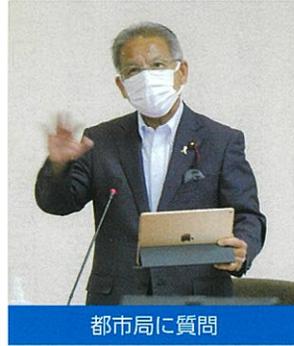
〒655-0014 神戸市垂水区大町1丁目2-10

携帯 **080-6175-4877**

E-mail: bucfaq906@hi-net.zaq.ne.jp

決算特別委員会 地域公共交通に対する支援について

Q 川内議員：コロナ禍で外出自粛が求められている中、地域コミュニティ交通の運行にも影響が出ており、垂水区の塩屋周辺を運行する「しおかぜ」においても利用者が減少していると聞いている。「しおかぜ」は地域ではなくてはならない交通手段である。コロナ禍の非常時においては、継続に向けてより手厚い支援が必要と考えるが見解を伺いたい。



都市局に質問

A 鈴木局長：地域コミュニティ交通で、当初は田園地域だけに継続に向けた支援制度を設けていたが、令和2年度から継続運行が困難な市街地部分「しおかぜ」にも支援制度を設けている。この制度とは別枠でコロナ対応支援も実施している。令和3年度も状況を見ながら、支援に向けて取り組んでいきたい。



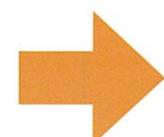
垂水活性化プラン各事業スケジュール(予定) ※変更の可能性あります

都市局に要望 リノベーションに関しては、地域住民から様々な意見が寄せられている。垂水体育館への動線の安全面、歩道橋の改修、また今後、市街地の再開発事業や図書館の整備、垂水小学校の建替えなどの工事が同時並行で進められていく中で、安全対策を徹底すること。レバンテ広場の利用も制限されることになるが、定期的に広場を利用している地域団体もあることから、代替地についても要望しました。

スケジュール案		令和2年度(2020年度)		令和3年度(2021年度)		令和4年度(2022年度)		令和5年度(2023年度)		令和6年度(2024年度)		令和7年度(2025年度)	
		前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
垂水駅東側再整備施設	垂水図書館(移転拡張)	基本計画検討		基本設計・実施設計		先行工事(仮囲い・土留め)		文化財調査		図書館本体工事(地下原付駐車場含む)		準備	開館
	駐停車スペース整備(図書館1階部分)	測量・詳細設計								工事			
	垂水駅東線(歩行者経路・歩行者滞留空間整備)	測量・詳細設計								工事			
既存施設	垂水駅前東広場	利用可		利用可		図書館の工事ヤード・仮設原付駐車場設置のため約3年間は利用不可				広場整備工事		利用再開	
	原付駐車場	利用可		※廃止		仮設原付駐車場(垂水駅前東広場内)				図書館地下1階で利用再開			
	臨時駐車場	利用可		※廃止									
関連整備施設	垂水小学校(建替え)	基本・実施設計		プール解体 仮設体育館建設		文化財調査		<西校舎>建設工事		●	供用開始	<南校舎>建設工事	
	垂水中央東地区(市街地再開発事業)	●	事業認可	実施設計 権利変換計画作成		●	除却工事	文化財調査		建設工事		●	供用開始

登下校時の安全に向けて

県道長坂垂水線のバス停(クラブ前)の南側・高丸幼稚園西側に位置する場所に横断歩道があります。ここは、子どもたちの通学路にもなっていますが、樹木や植込みで、左折車が横断歩道を渡る歩行者(小学生)を見づらい状況でした。



樹木や植込みを伐採し、ガードレールを新設しました。運転手からよく見えるようになり、歩行者が安心して横断歩道を渡ることができるようになりました。

安心・安全／公正・公平な街づくりに全力投球！

神戸市会議員(須磨区)
福祉環境委員会委員
未来都市創造に関する特別委員会委員
国民民主党・友愛神戸市会議員団 団長

大井としひろ 市会報告 VOL.89

2021年 秋号



編集・発行:国民民主党・友愛神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館26F TEL(078)322-5772 FAX(078)322-5773 MAIL:info@kobe-001.com

令和3年第2回定例市会9月議会開催 期間(8月31日～10月8日)

須磨区民の皆様いつもお世話になります。国民民主党・友愛神戸市会議員団の大井としひろです。

厚生労働省は、「第六波」の発生に備え、医療体制の見直しに着手しました。神戸市会9月議会では、新型コロナウイルス感染症対策・医療体制の安定的確保策として、軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の追加確保(5施設目)と市内事業者の経済活動支援策他、18億5,100万円の補正予算を承認したところです。

三度目の緊急事態宣言は何とか解除され、ワクチン接種も進み「withコロナ」へとコロナウイルスとの付き合い方も変わりつつありますが、気を緩めることなく「三つの密」の回避や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策を継続して頂き、感染拡大を予防する「新しい生活様式」を実践していただけますようよろしくお願いいたします。

神戸市会の決算特別委員会第二分科会において、「危機管理室・消防局」、「健康局」、「環境局」、「水道局」、「福祉局」、「建設局」の1室6局に対し、会派を代表して質疑しました。また、決算特別委員会総括質疑で、市長以下執行部に質疑しましたので、以下のとおりご報告いたします。

決算特別委員会 総括質疑 2021年9月24日

■ビンのリサイクルについて

Q 大井としひろ

ビンのリサイクルについて、お伺いします。

平成30年度の環境局の予算(案)では、令和2年度からビンの単独回収の一部試行を行い、令和4年度からビンの単独回収を全市展開すると提案されていたが、来年度から、ビンの単独回収は実施できるのか、進捗状況をお伺いします。

A 市長

瓶の資源化、これまで大井委員から再三御質問をいただけてきました。この瓶の資源化につきましているいろいろと検討をしてきたところではあります。



しかし、この再資源化をする上での単独回収をするということにつきましては、これはかなり抜本的な見直しでありまして、全ての処理過程に影響があり、当初考えていた以上に課題整理が必要になっているというのが今の状況であると考えております。

具体的には、単独回収では1か所当たりの収集量が少なくなり、収集車もパッカー車から平ボディ車に変更しなければいけない、収集体制の抜本的な見直しが不可欠になるということ、それ以外にも中継施設の確保が必要になるなど、課題整理が必要となっております。想定以上に検討に時間がかかっていると。そこで、この瓶の資源化を進める上で、さらに精度を上げた検討を進めていくため、単独回収モデル事業に対して地域の協力を働きかけているというのが今の状況でございます。

再Q 大井としひろ

7年前に神戸市のビンの資源化量を質疑した際、「24年度で210トン」との副市長の回答でありましたが、当時の資源化量の母数である収集量はいくらでしたか。また、現在の資源化量、そして、収集量はいくらですか。



A 副市長

平成24年度の収集量でございますけれども、1万589トンでございます。そのうち資源化量が210トンということでございます。現在ということになりますと、令和2年度の実績で申し上げますと、収集量が9,537トン、資源化量が4,438トンでございます。

再Q 大井としひろ

収集しました資源化されていない瓶は、24年度当時も現在もどうされておられますか。お尋ねします。



A 副市長

資源リサイクルセンターでの選別後、リサイクルとして扱えない物があるわけでございます。例えば、これらの不適切物の中には、瓶の飲み口の部分ですとか、キャップがくっついたもので、どうしても瓶のかけらの部分だけが取り出せないようなものも含まれているところでございます。このようなものは残渣として埋立処分をしているということでございます。

要望 大井としひろ

市民の皆さんが真面目に瓶を洗って、毎週出しています。20年近く市民の皆さんが、毎年1万1,000トンと出されて、1万790トンが捨てられていたと。7年前から半分ぐらいに改善されたと言われても、このことは考え直してもらわないといけないと思います。

中面につづく→

最近国を挙げてSDGsの推進や、2050年までにCO2の排出量の実質ゼロを目指す方針を踏まえていくと、このリサイクルの推進というのは当然前に進めていくべきであり、瓶の資源化率向上に向けた根本的な解決策としては、100%資源化を実施すべきと考えます。

私がずっと言い続けてきましたビンの全数資源化が、やっと令和4年度から実現すると期待していただけに失望も大きく、怒りとなって今回質疑させて頂きました。久元市長におかれては、7年前の質疑後から前向きに取り組んで頂き、感謝しています。しかし、担当副市長、環境局長におかれては、猛省して頂き、ビンの廃棄を一日も早く改め、収集した全数を資源化するよう要望して終わります。

決算特別委員会 「健康局」9月10日

■コロナ対策・療養先調整中の方の対応について

Q 大井としひろ

9月9日時点で自宅療養者は840人、療養先調整中の方は708人となっております。また宿泊療養施設は全体の受入人数436人のうち、既に211人が宿泊療養施設に入所しております。療養先調整中の708人の方々の対応について、具体的にどのように対処されているのか、現状についてお伺いをいたします。



A 健康局担当局長

感染者の療養先の決定につきましては、医師からの発生届を受領後、保健師が患者調査を行って、保健所で決定しております。医師が発生届に、入院が必要と判断して書かれている場合は、すぐに優先的に対応することにしておりまして、診察時は入院が必要とはなっておりませんでしたが、保健師が聞き取りの中で健康状況の変化により中等症以上の状況が分かった段階では入院に、また軽症者の場合には宿泊療養施設へ入所、無症状者の場合は自宅療養というふうに判断しております。

現在では入院は、当日また夜、夕方以降になりましたら翌日には、ほとんどの方に対応しております。その間に、もしも入院までに症状の悪化が見られる場合には外来受診、または酸素投与が必要だと判断した場合には、往診により対応を行っているところです。

再Q 大井としひろ

今日、緊急事態宣言が30日まで延長されたことに伴って、神戸市も第4弾が発表されましたが、今日の陽性者144人のうち、10歳未満の子供さんが21人、相当な数の子供さんたちが、陽性になっておられます。子供さんの入院先調整とかは、どのような対応をしているのか、お伺いします。

A 健康局担当局長

子供さんにつきましても、小学生以上等でしたら、症状がなければ先ほどと同じような状況になります。例えば生まれて間もない子供とかでしたら、すぐに一度病院のほうの診察を受けて、先生のほうで入院が必要だと思われれば入院につなげるという形でやっております。また、子供さんが陽性で親御さんが陰性の場合、親御さんと子供さんと調整して、両方とも入院するなり、子供さんだけ入院するなりということは判断をして対応しております。

■精神保健福祉対策について

Q 大井としひろ

神出病院で、再び患者暴行が発生し、職員の研修などの再発防止策を強化することだが、神戸市には、14の精神科病院があるとお聞きしています。実地指導の強化だけでなく、他の病院にも職員の研修など防止策の徹底を図るべきと考えます。また、コロナ禍で、家族の面談もできない、外部との接触もたたれ、外出もままならない状況、コロナ禍で当事者の皆さんのストレスも相当なものがあ



A 健康局長

神出病院の事件の後に作りました14病院との取決めをまもり、何かあれば通報していただくというようなことをきっちりしていただくこと、神出病院の事件を調査する中で、職員研修が不足していました。法律とか介護の技術を学ぶだけでなく、基本的な接遇とか倫理に関するような研修も必要ということを各病院に指導し、各病院での研修の状況については、定例の実地指導の中で確認しています。特に今、精神科病院での感染症に気をつけていただき、感染防止対策も取っていただくよう十分に注意していただくように指導しているところです。

要望 大井としひろ

コロナ禍の中で最前線で働く医療関係者の方、あるいは関係者の皆さん、特に健康局の皆さんは本当に御苦労されておられるんだと思います。頑張っておられる中でも、万が一、自宅療養などで亡くなる方が出るとなると、せっかくの頑張りも水泡に帰してしまいますので、その辺のところは十分留意していただいて、よろしくお願ひしたいと思います。

決算特別委員会 「環境局」9月13日

■ビンのリサイクルについて

Q 大井としひろ

ビンのリサイクルについてお伺いします。ビンの単独収集の検討についてですが、平成30年度の神戸市環境局の予算案では、ガラスビンについては月に1~2回程度、単独排出及び資源集団回収による排出機会の拡大を図り、平成32年度からビンの単独回収の一部試行を行い、令和4年度からビンの単独回収を全市展開することとしたけれども、来年度からビンの単独回収が始まるのか、この辺の進捗状況をお伺いしたいと思います。

A 環境局長



環境局としては、まずは全てのシステムを見直しするというのは大変時間がかかるわけですから、まずは今のやり方で徹底して改善できるところがないか、それを直ちにすべきじゃないかということで検討と改善を併せて進めてきたわけです。それでは資源化率がまだ半分程度。皆さんから排出してもらったうちの半分程度しか実現できていないという状況です。ビン単独収集となりますと、非効率になるわけです。

今までどおりのクリーンステーションをどのように利用していくのがいいのかというのが大きな課題です。まだ検討に時間がかかっており、先の見通しが立っていないというような状況です。

再Q 大井としひろ

私が議員になってもう20年近くなりますが、当時の環境局長なりいろんなところで御質問させていただいて、そして2014年の9月のちょうど7年前、久元さんが市長になられてすぐの代表質問だったと思いますが、神戸市の資源化量はどれくらいですかとお尋ねしたら、当時の副市長が210トンとお答えされたんです。神戸市は缶・ビン・ペットボトル3つを集めておられたので、ビンを集めた全体量というのはずっと分からないと言いつけてこられた。何度も質問して、当時の局長が1万1,000トンと答えられた。1万1,000トン集められて210トンが資源化だと。残りの1万790トンはどうなったんですか、お伺いします。

A 環境局長

残渣として埋立て処分しておりました。



再Q 大井としひろ

残渣として埋立て処分ということは、市民の皆さん方が洗って、うちの家内もきれいに洗って出しています。それが全部と言ってもいいぐらい捨てられていた。市民の皆さん方は、神戸は「環境先進都市」と自負しておられます。もう1度お答えいただけますか。



A 環境局長

これまでビンの資源化については大きな問題がありました。この問題についても当然最優先で改善に向けて取り組んできたわけでございます。なぜこんなことになってしまったのか、改めていろいろな要因といいますか、原因につきましては内部でも検討してきたわけでございます。ただ、原因の大きな1つといたしましては、できるだけ市民の皆さんに負担をかけないということで、効率化を最優先してきたところもあります。ただ、そういったことも踏まえながら、先ほども繰り返しになりますけれども、ビンを取り巻く大きな処理システムが出来上がっていますので、その中で我々としてどういうことをすれば最終的に大きな市民負担がなく、市民の皆さんの頑張ってきた努力というのを何とか無駄にしたい、そういう思いでやっていきたいと考えておりますので、引き続きしっかりと検討を進めていきたいと考えております。

再Q 大井としひろ

当時、副市長は210トンとおっしゃられたんですけども、今は大分頑張ってくださいまして5,000トン近くまで資源化されてきております。しかし、残りの5,000トンは、まだ先ほどのように廃棄されておるわけです。これは許されないと。これはもう早急に令和4年度に単独回収できないのであれば、すぐにでもできる体制というのを検討していただかないといけないと思いますが、ご見解は。

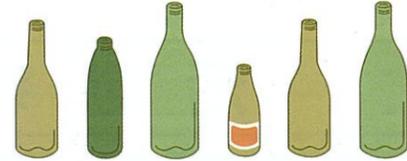


A 環境局長

おっしゃいますように、私も究極的にはやっぱり単独収集というのが一番資源化率が高い方法だと思っております。それに向かうにおいて、我々の内部の検討だけではなくて、地域の皆さんの意見は今まで全然聞いてなかったという大きな問題がございますので、地域の皆さんとこの単独収集に向けた試行といいますか、モデル事業といいますか、そういったものを立ち上げたいなという思いがございまして、そういった意味から、まずは地域の皆さんに協力依頼といいますか、こういったことを環境局としては考えている趣旨を説明して、少しでも早く地域でそういったモデル事業を立ち上げていきたいと考えております。

要望 大井としひろ

よろしくをお願いします。



決算特別委員会 「水道局」9月10日

■ 包括外部監査の指摘について

Q 大井としひろ

令和2年度の決算の中で、今回、包括外部監査の指摘による過年度損益修正益として16億9,400万円もの特別利益が計上されました。また、同じく包括外部監査の指摘により、過年度損益修正損として6億6,900万円もの特別損失が計上されています。これはかなりの金額であり、昨年度の決算値が特別利益、特別損失ともに1,000万円だったことを考えると、かなりの影響があったことになるわけですが、一体どんな指摘があったのか、お伺いします。

A 水道局長

令和2年度の包括外部監査におきまして、水道事業全体について詳細な監査を実施していただきましたが、その中で、特に減価償却の耐用年数など固定資産関係の会計処理における指摘等をたくさんいただきました。具体的な内容を申し上げますと、資産を取得した場合、取得年度、取得価格、耐用年数等を登録いたします固定資産台帳に登録をし、法定耐用年数によりまして減価償却を毎年度費用計上することになりますけれども、今回、同じ種類の資産であっても法定で複数耐用年数が示されているものがありまして、それを担当者ごとの解釈によって統一されていないケースが指摘されたことから、耐用年数を統一し、そして、台帳を修正することとさせていただくことになりました。耐用年数を統一した結果、以前採用していた耐用年数より長くなるものも短くなるものも両方ありましたけれども、結果的に長くなったほうの資産数が多数ありましたので、このような特別利益が多く出るようになってしまいました。財務諸表作成の基となります経理処理あるいは台帳管理というのは、健全な事業活動の基本でございまして、正確を期すよう、今後は適正な事務処理に努めてまいりたいと思います。どうも誠に申し訳ございませんでした。



裏面につづく→

再Q 大井としひろ

指摘の中で、監査において特に目についた事項として、決算額と管理台帳額の不一致、固定資産や備品の登録誤りや棚卸しの数量違いなど、会計数値を確定する上で基本的な手続に不備が多く見られたことであると書かれていました。平成15年にも包括外部監査を受けておられます。そこで、今回の監査で、耐用年数の誤りについては平成15年度の包括外部監査でも指摘しているにもかかわらず今回もというような指摘がされていますが、それに対してどうお答えされますか。



A 水道局長

誠に申し訳ないと思っております。組織的なチェックができるように今後とも取り組んで、今回は支援業務を監査法人に委託しまして、専門家の方にアドバイスを頂きながら、先ほど申し上げましたマニュアルなども作成いたしまして、職員研修も実施して、今後、抜かりのないように取り組んでまいりたいと思っております。

要望 大井としひろ

監査の中で今回発見した不備というのは、内部統制体制、これが適切に整備・運用されておれば防止できたものが大半だと指摘されています。局長自ら内部統制の、整備・運用について自ら旗を振っていただき、早急に是正されるよう要望して終わります。

活動報告

「おーいブログ」 2021.9.21より

名谷駅前バスターミナルの点字ブロックについて

今日、須磨区民の方から私宛にメールが届きました。内容を見ると目のご不自由な方からでした。

「1年ほど前に名谷駅のバスロータリー周辺の地面改良工事があり、その際に本来あったはずのバス乗り場まで行く点字ブロックが撤去されてしまいました。

代わりによその道へ行く点字ブロックから、いきなりバスの乗り口に誘導されるように点字ブロックが敷設されました。

この状態では、バスの列に並ぶことができません。

本来ならば、人が並ぶ列に沿って誘導ブロックがあるべきなのです。

担当の西部建設事務所に問い合わせをしましたが、国のガイドラインに沿って入口まで誘導したから問題ないと言うのです。

入口に誘導と言っても誘導の仕方が間違っているんです。

いきなり入口に誘導するのではなく、人が並んでいる列に沿って誘導して欲しいんです。

視覚障害者の立場になって、考えて欲しいとお伝えしましたが、のらりくらりとした返事で話になりません。

名谷駅を利用する他の視覚障害者も困っているはずですよ。

どうか、お力を貸していただけませんか。

現地で説明するなど、私で役に立てることがあれば説明させていただきます。

よろしくお願いいたします。」と今日メールをいただきました。

すぐに福祉局のユニバーサル担当部署に点字ブロックについて、話をお聞きし、交通局の担当課長にも点字ブロックの敷設について状況をお聞きし、西部建設事務所の担当係長にこの内容を伝え、今日の夕方に建設局西部建設事務所の担当係長と相談者の方と現地を見ながら不具合点を確認していただく事にしました。

現地で、現状の点字ブロックの不具合点を指摘させて頂きました。10日後に西部建設事務所の検討結果をお聞かせいただける予定です。

以下の写真は、名谷駅の現行の点字ブロックの状況と黄色の部分で以前あった点字ブロックの位置を示しています。帰りに妙法寺駅の点字ブロックの状況を写真に収めました。西神中央駅も学園都市駅も妙法寺駅同様の点字ブロックの敷設状況でした。

これを見ると一目瞭然です。

名谷駅の点字ブロックは、視覚障害者のことを考えていない敷設であると言わざるを得ないと言う事です。

明日、西部建設事務所に再度改善を私からも求める事に致します。

以上今日の活動報告です。

後日、西部建設事務所長より、以前あった所に点字ブロックを敷設する旨回答を頂いたことを報告させていただきます。改修工事の際は、市民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員

大井としひろ

自宅兼事務所 須磨区多井畑南町22-15 TEL 080-5339-3001

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ http://kobe-001.com
- おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi
- ツイッター KOBE_SUMA_OOI

大井としひろ

検索

力を合わせてこの難局を
乗り越えましょう

新型コロナウイルス感染症拡大が完全に終息することなく、第6派も懸念される中で新しい年を迎えました。神戸市でも1月下旬からワクチン3回目接種券発送が本格化しますが、スムーズなワクチン接種に努めるとともに、医療提供体制の更なる強化を目指しながら、市民の皆さまの生命と生活を守るために引き続き意見反映して参ります。

令和3年11月議会が閉会

11月議会では、新型コロナウイルスの3回目接種に要する費用などを含む、総額73億5400万円の2021年度一般会計補正予算(案)を可決しました。

虐待の早期発見・早期対策を目指す

令和2年度、こども家庭センターに寄せられた児童虐待相談件数は、**2,721件**で前年度より**327件**増加しています。また、神戸市配偶者暴力相談支援センター(DVセンター)には、**3,606件**の相談が寄せられています。虐待や暴力の撲滅に向けて更に体制を強化していかなければなりません。こども家庭センターにおいて、令和3年度は児童福祉司8名、児童心理司2名、一時保護所職員5名を増員しました。



(11月は啓発月間でした)

3回目ワクチン接種について

2回目ワクチン接種後8ヶ月が経過した方から順番に接種券を1月下旬から発送します。

コールセンターへの電話予約、ネット予約、かかりつけ医に予約をはじめ、この予約で苦勞されるということができるだけないように、希望される方については神戸市が接種場所と日時を指定する新たな予約受付方式(おまかせ予約)を導入する予定です。このおまかせ予約のチケットについては、接種券の封筒の中に同封することになります。詳細は後日改めて公表します。



郵便はがき

料金別納郵便

ひとりひとりを
大切に！



ご相談はお気軽に

神戸市会議員

川内 きよなお

〒655-0014 神戸市垂水区大町1丁目2-10

携帯 **080-6175-4877**

E-mail: bucq906@hi-net.zaq.ne.jp